

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ディアブローバレーカレッジ
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学を開始した時の学年	3年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	30万円
保険料	9万円
宿舍費（1か月あたり）	39万円
食費（1か月あたり）	2万6千円
渡航旅費	21万円

滞在形態関連

1) 種類	ルームシェア。
2) 部屋の形態	相部屋（3人）。
3) 設備	シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット環境、宅配ボックス、ジム
4) 住居を探した方法	

留学先大学のホームページ。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

はい。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

いいえ。

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、日本にいる友人や家族、大学のカウンセラー、大学の留学担当窓口、ホストファミリーやRA（レジデンスアシスタント）。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

比較的治安は良く、夜でも出歩けると思われる。
一度だけランドリールームにて洗濯物を盗まれた。また友人も盗まれていたことから、注意が必要。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

基本的にシェアルームのインターネットは安定している。
携帯電話は日本でSIMカードを購入したが、現地でも安く手に入る。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

現地で銀行口座は開設せず、日本のクレジットカードを利用していた。
ただ「ベンモ」という送金サービスを使っている友人が多く、とても便利なサービスだが、それは現地で銀行口座を開設する必要がある。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

近くに大型スーパーやショッピングモールがあり、買い物には困らない。
最寄駅へはウーバーを使う必要がある。
基本的には現地で調達できるが、日本の食べ物（インスタント味噌汁など）を持っていくといいかも。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

クレジットカード。

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

朝夜と昼間の寒暖差が激しいので、調整できるような服を持っていくと便利。（もちろん現地でも買える）

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

シェアハウスエージェントのピックアップサービス。

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。留学生向けオリエンテーションは半日で終わる。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名

Public Speaking

授業内容や試験、授業を受けた感想について

内容：クラスメートの前でスピーチをする。クラスメートとディスカッションをシトピックを決めたり内容を深掘る回，練習をする回，発表をする回，というような流れ。全部で6つ大きいスピーチを発表する。

試験：基本的に毎回のスピーチ採点と課題点数で成績が決まる。一応期末に振り返りシートあり。

感想：自分以外現地学生だったためついていくのは大変で，30人近くの前で5分以上のスピーチをするのは緊張はするが，とても達成感のある授業だった。

履修した授業科目名

Student Success

授業内容や試験、授業を受けた感想について

内容：留学生向け版と通常版があるが，自分は都合で通常版を選択。大学で成功するための心構えや，自分の律し方，人との関わり方を学ぶ。

試験：中間と期末にレポートあり。ただ，毎回の課題もかなり重要。

感想：内容としては自分には合わなかったが，ディスカッションをする機会がとても多く，友達を作る機会はかなりあった気がする。

履修した授業科目名

High-Intermediate Oral Communication Skills

授業内容や試験、授業を受けた感想について

<p>内容：スピーキングの授業。教科書に沿って進めていく。 試験：中間と期末にリスニングテストと5分間スピーチあり。 感想：留学生向け授業のため、様々な国の友人ができる。英語を語学として学びたい人にオススメ。</p>
--

履修した授業科目名
International Business
授業内容や試験、授業を受けた感想について
<p>内容：オンライン授業。毎週教科書を自習し、オンラインでテストを受け、また掲示板でディスカッションをする。 試験：なし。 感想：個人的にはかなり学びになった。ただオンラインのため、自分のモチベーション維持が必要。</p>

履修した授業科目名
Soccer
授業内容や試験、授業を受けた感想について
<p>内容：サッカー 試験：中間、期末に筆記テストあり。ただ、成績はほとんど出席点。 感想：色々な国籍の人とスポーツを通じて友人になれる。毎回ゲームメインなので、for fun精神で大丈夫。</p>

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>留学を決意した理由は二つあります。 ひとつが「様々な人種の人と関わり、文化を体験することで、自分の知見を広げること」です。教養講座で異文化理解を学んでいたこともあり、自分も実際に異文化に触れてみたいと思っていました。もうひとつが「英語を、大学の授業で学ぶためのツールとして実践すること」です。これは、英語は何かを成し遂げるためのツールであるという考えに基づき、それを実践したいと思いました。</p> <p>また、留学先を選んだ理由としては、上記の前者の目的を達成するために比較的多くの人種がいる西海岸を選んだこと、また、コミュニティカレッジは比較的費用が安いことです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の準備でまずはじめに取り掛かったことは、TOFLE のスコアを取るための勉強です。留学先を選定するにあたり、選択肢を広げるためにはスコアを一定以上取らなければならないため、参考書などを使い勉強しました。時期的には、前年の夏頃から本腰を入れました。</p> <p>手続きは春が過ぎてから本格的に始めました。具体的には奨学金の手続きや、現地大学の手続き、住む場所の確保等です。</p> <p>しておけばよかったことは、できるだけ英語、特にリスニングとスピーキングの勉強を続けることです。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前には、TOEFL の勉強のために参考書を使っていました。具体的には、TOEFL Preparation を受講していた際に購入した Cambridge を使いました。</p> <p>また荷造りの際には、持っていくべきものをウェブサイト上のブログ等を参考にしました。</p> <p>留学中には、移動に Uber というアプリを使いました。これはシェアライドのアプリなのですが、住んでいた周辺は移動に車が欠かせないところだったので、高頻度で利用していました。また、自分の経済状況を把握するため、家計簿のアプリを使い、管理をしていました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>大学のキャンパスはそこまで広いわけではありませんが、中央の広場にはピアノが置いてあったり、ベンチが多数あったりと、とても賑わっています。スケートボードで走っている生徒もいたり、日本の大学と違った雰囲気も味わえました。また、留学カウンセラーの方々はかなり親切に話を聞いてくれるため、困ったことがあれば相談していました。</p> <p>学生は、多くの人種の人々がいます。編入を目指す学生が多いため、勉強に関してはしっかり取り組んでいる学生が多い印象です。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>滞在していたところは都市部からは離れていたため、のびのびと生活ができました。また、シェアハウスがあるところはアパート群なので、近所に住んでいる友人の家を行き来することもありました。交友関係を広げるためにも、近所で人に会った時に、挨拶等、声をかけてみることもしていました。</p> <p>近くに大型ショッピングモールやラウンドワンがあり、休日に友人と出かけることもありました。都市部から離れてはいますが、その面ではあまり困らなかつたと感じています。</p>

	<p>現地の方々はとても親切で、レジでは世間話をすることもありました。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>日常を共にするため、シェアハウスの友人たちと仲良くなりました。週末には自宅でお互いの友達を招いて、ポーカーをしたりゲームをしたりして遊ぶことも多々ありました。大学では、授業やクラブが一緒の友人と仲良くなりました。授業終わりにお互い時間があるときは、一緒に図書館で勉強をしたり、キャンパス中央にある広場でおしゃべりしたりしました。私は、自分が日本語を教える代わりに、相手に英語を覚えてもらう関係の友人ができ、よくカフェで勉強をしていました。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>まずはルームメイトとの生活において、トラブルがありました。韓国、中国のルームメイトでしたが、共同スペースへの意識が違ふことがあり、キッチンを汚く使う、洗い物をしない、等がありました。ただ、その際ははっきりと、自分はこう思うけど、あなたはこう思っているのかと伝えたことで、改善は見られました。あとは、課題の量です。基本的に毎回の授業で課題を出されるため、コツコツやることが求められるのですが、時間の使い方があまりよくなく、前日に必死にやることも多々ありました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>日本の大学と比べると、自学自習がかなり求められました。そのため、自分が授業についていくレベルの英語力が足りなかったこともあり、予習・復習には力をいれていました。また、できるだけ日頃から机に向かう習慣を持つようにしました。あとは、週の初めに大きめの学習スケジュールを立て、毎日小さい学習スケジュールを組むということもしていました。ただ、試験や期末前には、重い課題やテスト勉強をする必要があるため、夜中まで起きて勉強をせざるおえないこともありました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>課外では、International Student Club へたまに顔を出していました。様々な国の人と友人になれたり、文化についてのディスカッションがあったりと、とても面白かったです。また、キャンパスでの交友関係を広げるいい機会になりました。また、週末には電車を使ってサンフランシスコ市内にでたり、野球やバスケットボールをみたりと、遠征をすることもありましたし、友人の家に遊びに行ったり、近くのショッピングモールに買い物をしに行ったりと、遠くに行かずとも楽しめました。個人的には、定期的に筋トレをしていました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>まずは、目的意識をもって留学へ臨むようにしてください。それを軸にすることで、自分はどのように行動すればいいか自ずと見えてきて、短い期間だとしても吸収できるものはかなり多くなると思います。体験して強く思ったことは、留学期間は本当にあつという間です。日本ではできないことを是非体験してみてください。失敗や苦労することは当たり前にあります。ただ、そこで諦めずに、どんどんチャレンジしてみてください。最後に、私にとってこの経験は間違えなくかけがえのないものになりました。留学を志すみなさんも、それを楽しみにしてください。</p>

